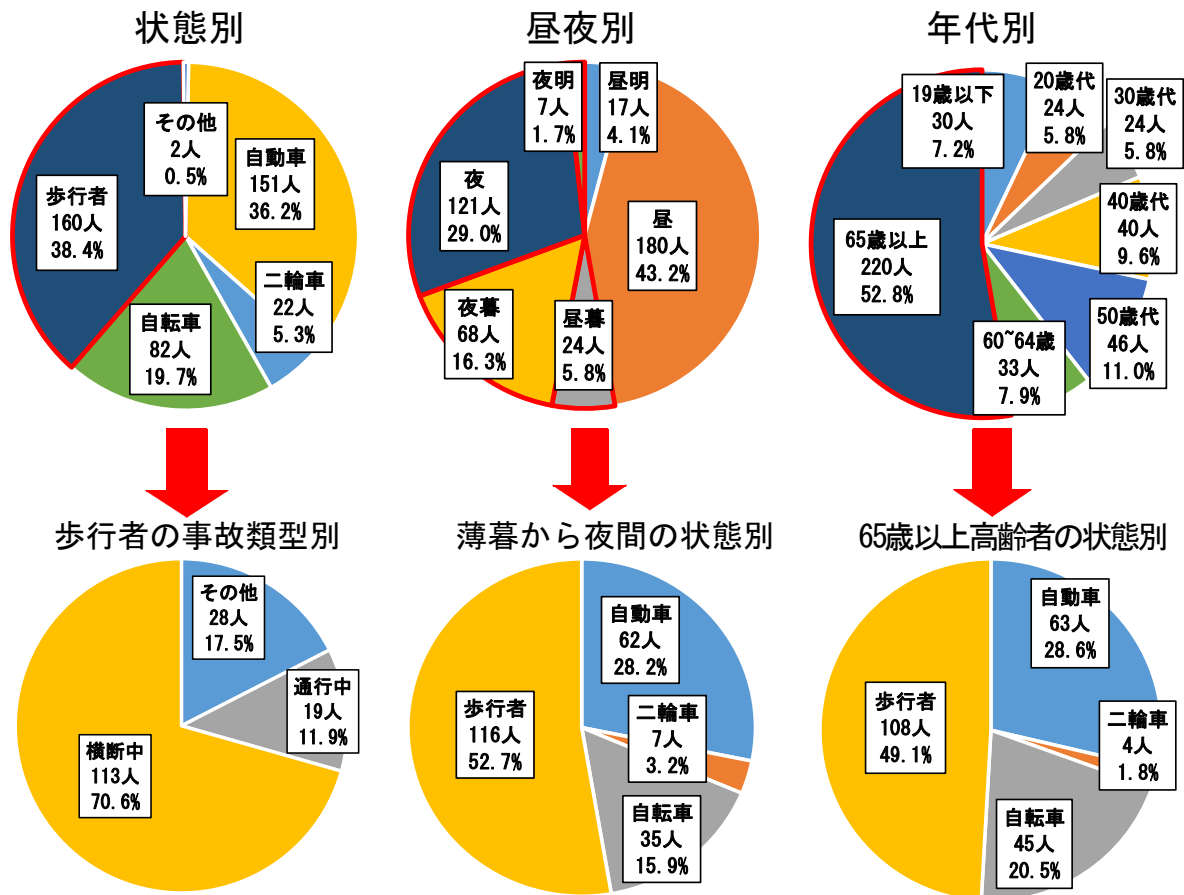


# 10月から12月までの交通事故死者・重傷者の特徴について

交 通 部  
交 通 企 画 課

## ◎ 10月から12月までの交通事故死者・重傷者の特徴（令和元年から令和5年までの累計）

- 状態別では、歩行中の死者・重傷者が最多の160人（38.4%）で、うち113人が横断中である。
- 昼夜別では、薄暮から夜間の死者・重傷者数が220人（52.7%）で、うち116人が歩行者である。
- 年代別では、65歳以上の死者・重傷者が220人（52.8%）で、うち108人が歩行者である。



歩行者の事故類型別  
死者に限定すると

横断中	16人 (57.1%)
通行中	8人 (28.6%)
その他	4人 (14.3%)

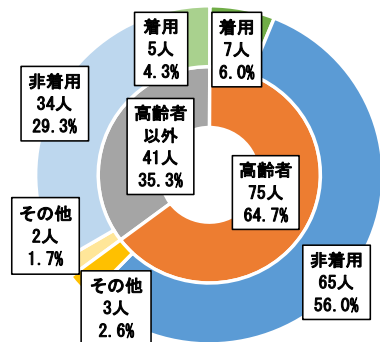
薄暮から夜間の状態別  
死者に限定すると

歩行者	26人 (66.7%)
自動車	9人 (23.1%)
自転車	4人 (10.3%)

65歳以上高齢者の状態別  
死者に限定すると

歩行者	20人 (55.6%)
自動車	10人 (27.8%)
自転車	6人 (16.7%)

### <参考> 薄暮から夜間の歩行中の死者・重傷者116人の状況



※「その他」は不明または第3当事者である。

- 反射材の着用状況
 

高齢者	着用7人、非着用65人、その他3人
高齢者以外	着用5人、非着用34人、その他2人
<b>着用率</b>	<b>10.3%</b>
- ※ 死者に限定すると
 

高齢者	着用3人、非着用16人
高齢者以外	着用1人、非着用6人
<b>着用率</b>	<b>15.4%</b>